

# 県立大 Arch

Vol.76 Spring



その先に、どんな可能性を咲かそうか。  
〜新たな時代の始まり、いわてを創造する人材の育成と地域の未来をつくる大学へ！〜

岩手県立大学の魅力を発信すべく日々活動する学生団体、キャンパスアテンダント(CA)。そんなCAたちが、県大生の県大生による県大生の今を伝えます。バ(\*'▽')ノシ

## ケンダイ★広報局

学生★企画

今回のテーマ「大学生のボランティアちゃんねる」  
岩手県立大学の学生が活躍するボランティア団体をクローズアップした、大学生のボランティアちゃんねる!今回は3つの団体を紹介♪

### 復興girls&boys\*



平成23年3月11日の東日本大震災で被災した企業・住民のみなさんに関係する商品を取り扱い、販売会などに出品しています。さらには、高校生の方々や企業とコラボレーションした商品開発も行っています♪



オススメポイント

マーケティングなど、学生が普段経験することのできないような手段を用いて復興支援に携わることができます!商品の売れ行きなどを体感するのが楽しい!!

ソフトウェア情報学部 1年 おしろう



お問い合わせ先

Facebook @fukkougirls



### 盛岡YMCA (特定非営利活動法人 盛岡YMCA)

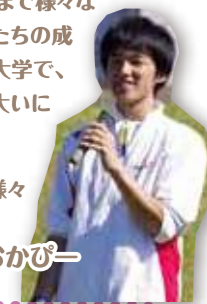


YMCAは全世界で活動している組織で、盛岡YMCAでは社会人から子どもまで様々な人が集まり活動しています。学童保育やシーズンキャンプを通して、子どもたちの成長にとって大切な価値、協力の楽しさを伝えています。昨年からは岩手県立大学で、心身に障がいのある子どもたちを対象にチャリティーマラソン大会を開催。大いに盛り上がりました!

オススメポイント

子どもの成長とともに、自身も成長することができます!活動の中で全国の様々な方と関わることができるのも魅力です♪

お問い合わせ先 盛岡YMCA本町センター TEL.019-623-1575 ソフトウェア情報学部 3年 おかひー



### 化粧ボランティアサークル「KIPU\*Labo」



高齢者福祉施設での依頼のほかに、大学祭などでハンドマッサージも行っています。ハンドマッサージには血行促進などの効果があり、依頼に応じてお化粧やネイルも加え、高齢者の方々が心豊かに生活できるようにお手伝いをしています!

オススメポイント

ハンドマッサージなどのスキルが、訪問先で出会った方々とのコミュニケーションにつながります。お化粧などは、入部してから練習できるので初心者の方も安心して活動することができます!依頼に応じて様々なところで活動できます♪



総合政策学部 2年 Tommy

お問い合わせ先 学生センターTEL.019-694-2010



このほかにもいろんなボランティアサークルがあるよ〜! どんどん問い合わせしてね!!

【Twitterアカウント】@iwate\_pu\_CA 岩手県立大学キャンパスアテンダント公式アカウント!  
※ツイート内容は大学の公式見解ではありません。大学生目線でCAメンバーがつぶやきます!!ハッシュタグは#岩手県立大学CA



Blogはこちら→



岩手県立大学 企画室 Iwate Prefectural University

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52 TEL.019-694-2005 FAX.019-694-2001 [URL]http://www.iwate-pu.ac.jp/ [e-mail]management@ml.iwate-pu.ac.jp

- [看護学部] [社会福祉学部] [ソフトウェア情報学部] [総合政策学部] [盛岡短期大学部] [宮古短期大学部]
- [看護学研究科] [社会福祉学研究科] [ソフトウェア情報学研究科] [総合政策研究科]



その先をつくる大学。 岩手県立大学 Iwate Prefectural University

発行:2019年3月31日

Copyright © 2019 Iwate Prefectural University All Right Reserved.



幅広く知識を身につけ、社会に役立つ高度な専門性を磨く。

# 学士力 × 実学

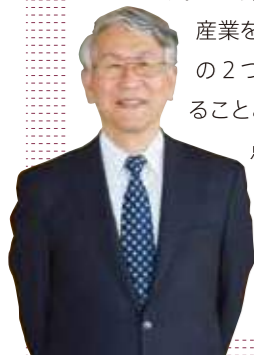
平成31年度から、ソフトウェア情報学部と総合政策学部のカリキュラムが大きく変わる。これは、開学20周年を契機に、大学が打ち出す新たな取組。2つの学部だけでなく、大学全体が取り組む新たな教育について、総合政策学部2年の富澤南さんが高橋聡教育支援本部長に聞いた。



## 大学全体で教育変革に取り組み、「岩手県の知の拠点」を目指す

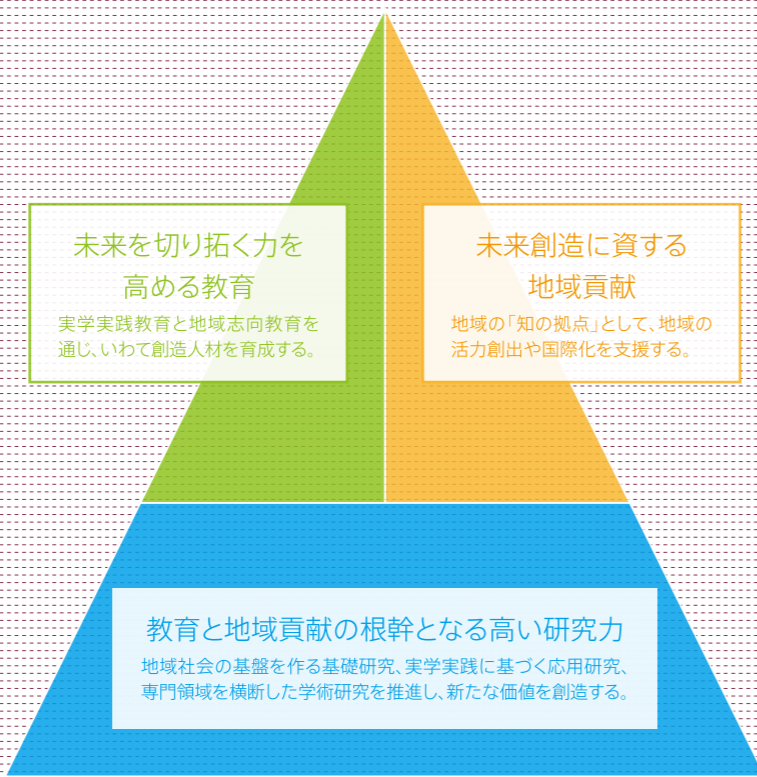
本学では、第三期中期計画を平成29年に策定し、「自らの意志と力で課題に挑み、未来を切り拓く能力を育む教育」、「地域の特質、独自性と人間主体の活力を生み出し、未来創造に資する地域貢献」、「教育と地域貢献の根幹となる実学・実践に基づく、高い研究力」を基本姿勢に掲げました。

そして、開学20周年を契機に、教育研究組織の見直しを行い、ソフトウェア情報学部・研究科では、平成31年度から現行の講座制を廃止し、時代の変化に対応した4つのコースを設置するほか、博士前期課程を含めた6年制の一貫教育体制を整備します。また、総合政策学部では、地方行政や地域産業を担う人材の育成に資するよう、現行の2つのコースを3つのコースに改編することとし、大学全体で「岩手県の知の拠点」として、さらなる飛躍を遂げるべく、変革に取り組んでいきます。



岩手県立大学学長  
鈴木 厚人

## 大学力の強化・向上へ!



**富澤** 私が学ぶ総合政策学部もカリキュラムが変わりますが、今回の教育改革のポイントを教えてください。

**高橋** 富澤さんは、これまで学んだ科目がそれぞれどんな風に役立つのかわかっていますか？

**富澤** よく理解しないまま科目を選択していました。はじめに学んでおいた方がよい科目を後に履修するなど順番を間違えたりしましたね。

**高橋** そういう混乱をなくし、皆さんが学んでいる科目が、他の科目とどのようにつながっていくのか、その全体像を把握して学ぶことができるようになるのが、今回の改革なんです。

**富澤** いま勉強している科目の学ぶ意味が明確になるといいことですか？

**高橋** その通りです。先生に「これをやりなさい」と言われても、それが何の役に立つのかわからないまま勉強することって多いですよ。3年次になって「あの時学んだことはこの勉強につながるのか」と後になってわかることが多い。そこではなくて、1年次の時から全体の学びのストーリーを把握した上で、個々の科目を勉強できるようにすれば、学ぶ意味がわかって楽しい、より効率的に履修できます。

**富澤** 看護学部や社会福祉学部も同じですか？

**高橋** 専門職を育成する看護学部や社会福祉学部は、それぞれアプローチの仕方が違いますが、基本は同じ。全体の学びのストーリーを明確に打ち出して、個々の科目に落とし込んでいきます。

**富澤** 全体がわかると、科目を選択する時にも役立ちますね。

**高橋** 自分の専門での学びを深めていくと同時に、それ以外の科目にも学ぶ意欲を広げられるような工夫もしていることとっています。実学的な方向性を深めながら、幅広い知識もしっかり身につけていく。深めることと広げることが、矛盾することのように思いますが、実は、どちらもできる学生は素晴らしい力を身につけると思います。



教育改革について語り合う高橋聡教育支援本部長(右)と富澤南さん(左)。



## 創立20周年に寄せるメッセージ



平成30年6月、岩手県立大学は開学20周年を迎えた。「地域の大学」として地域に根ざした教育・研究活動を実践し、これまで輩出した卒業生は約1万2000人(平成29年4月現在)。記念すべき年を迎え、大学へ寄せる想い、これから期待することなどを教職員たちに聞いた。



Let's create a future!

### 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 渡邊 慶和 教授



20年前、私は神奈川県にいたのですが、ソフトウェアとハードウェアの両方を研究する“かつてない大学”ができると聞き、ワクワクしながら岩手に来たのを覚えています。開学時は、ゼロからのスタートでしたから、教員も学生も試行錯誤の連続。でも「世界に通用する技術者を育てる」という志のもと、様々なチャレンジをしながら指導にあたってきました。

ソフトウェアでは、正解のないゴールに向かって、トライ&エラーを繰り返していくことが大切です。今の学生は真面目ですが、未知の挑戦に対しては少し保守的。基本は守りつつも、一歩踏み出す勇気を持ってほしいと思います。

開学から20年が経ち、我々と同じような学部を設立する大学が増えてきました。その中で差別化を図りながら、学生たちのサポートをもっと充実させていかなければなりません。そして、新たな方向性を学生たちと一緒に考え、探っていきたくと思っています。

### 岩手県立大学高等教育室 関屋 一博 室長



開学3年目の平成12年、大学職員として着任しました。当時は、新しくできた大学で教員や学生も大変だったと思いますが、職員も制度を一つひとつ作ることからスタート。加えて平成17年には法人化に伴い、これまで整えた規程などを全て作り直すという苦労もありました。しかし、新しいものを作るために、議論を重ね、形にしていけることは楽しく、やりがいのある仕事ばかりでしたね。

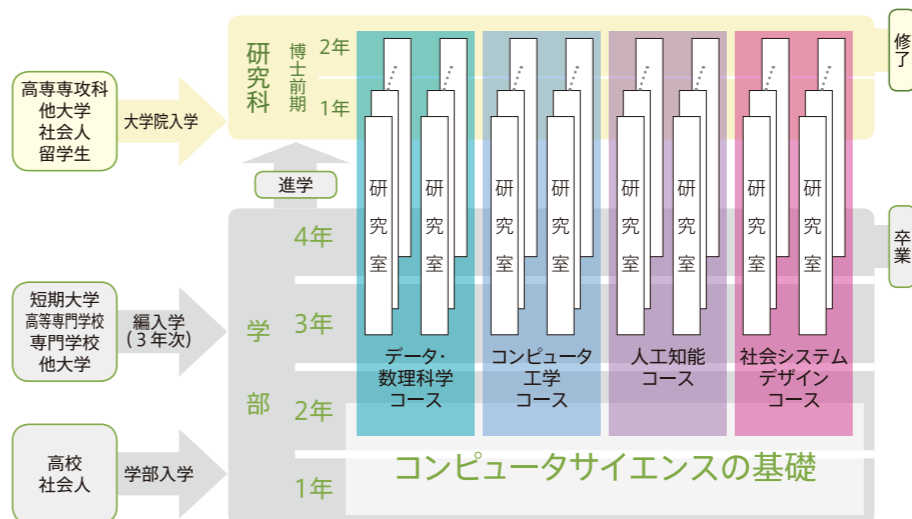
国際交流の始まりとして、留学生の受け入れを前提に、中国の大連交通大学と初めて「国際学術交流協定」を結んだことも思い出深いです。留学生の衣食住のサポートから心のフォローまで、彼らの不安を少しでも軽減できるように心を砕きました。

この20年、学生と教職員で大学を作り上げてきましたが、互いの距離が近く気軽に話せるのが、うちの大学の良いところ。何より学生たちが成長していく姿を間近に見ることができるのが嬉しく、仕事の活力をもらっています。

20th anniversary messages

## ソフトウェア情報学部

### コース制の導入と6年間一貫教育への展開



平成31年度から学部・研究科に4つのコース「データ・数理科学、コンピュータ工学、人工知能、社会システムデザイン」を設けます。1年次はコースに属せずに共通のコンピュータサイエンスの基礎を学び、2年次にいずれかのコースに属し、さらに3年次からは研究室(各研究室教員1名)のもと、コースにおける専門性を高め、4年次からは卒業研究に取り組みます。コースや研究室は年次進行とともに自らの適性・関心を見極めながら選択することができます。また、学部で身につけた専門知識に加えて学際的な知識の修得もできるように、学部と研究科博士前期課程の接続を円滑にする6年制の一貫教育カリキュラムを整備します。

ソフトウェア情報学部長  
猪股 俊光



### 社会変革に対応した4コースを新たに設置、研究・教育力の強化でさらなる地域貢献を

今、社会は大きな変革期を迎えようとしています。農業、運輸、商業、工業、金融分野等のすべてのモノがIoTによってデータをやりとりするようになり【コンピュータ工学】、集積されたビッグデータに対して、データ解析【データ・数理科学】や、機械学習【人工知能】等が適用され、必要とされる情報の抽出が行われます。また、デザイン思考等の手法【社会システムデザイン】による諸課題の解決が図られるなど、超スマート社会の実現が間近に迫っています。

ソフトウェア情報学部では、教育研究組織やカリキュラムの見直しを行い、平成31年度から上述の4つのコースを設けるとともに、学部・研究科博士前期課程の連携の強化を図りながら、情報通信技術の利活用による研究力の強化、高度専門技術者育成による教育力の強化を目指し、地域に貢献していきます。

## 総合政策学部



総合政策学部長  
吉野 英岐

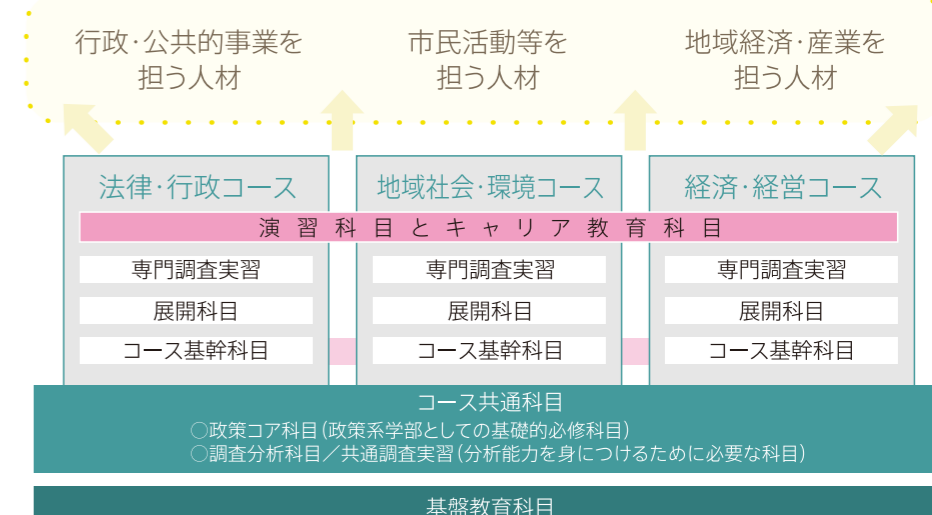
### 「政策」を様々な専門分野と結びつけ、新時代の課題に対応できる人材教育を

平成31年度入学生から総合政策学部では新しいカリキュラムを導入します。政策をキーワードに様々な専門分野を政策と結びつけて考え、そして、提案をしていく能動的なカリキュラムです。

政策は県や市区町村といった地方自治体のレベルだけでなく、日本国政府、そしてASEAN、EUなどの国家間共同体や国際連合(UN)など、様々なレベルで立案され、実行されています。また政策は自治体や政府の領域だけでなく、地方の中小企業から国際的な企業の領域、地元の町内会・自治会といった住民組織から広域なNPOや国際的な市民組織の領域まで、多様な場面での意思決定や方針決定のあり方を意味します。

まさにローカルからグローバルまでを見渡す地平からのアプローチのもと、これからの時代に対応する課題への対応をともに考えていく学部を目指します。

### カリキュラム概念図



総合政策学部では社会の様々なニーズや地域特性に配慮し、平成31年度入学生から「法律・行政コース」「経済・経営コース」「地域社会・環境コース」の3つのコースを設けます(学生のコース配属は3年次からです)。学生はすべてのコースに共通する科目である政策コア科目(政策系学部としての基礎的必修科目)、調査分析科目、共通調査実習(分析能力を身につけるために必要な科目)、及びキャリア教育科目を履修するとともに、各コースに配置されるコース基幹科目、展開科目、専門調査実習、演習科目を履修します。



未来に向かって、新たなアクションを起こす学生がいます。地域の先を見据え、活躍している卒業生がいます。彼らが何を思い、どんな活動をしているのか。それぞれの扉を開けてみましょう。

岩手県盛岡広域振興局  
保健福祉環境部保護課  
Iwate Prefectural Council, Iwate Branch Office



生活保護から自立へと向かえるよう、  
行政だからこそできる支援を。

卒業生

岩手県盛岡広域振興局  
保健福祉環境部保護課

### 畑 俊輔

1993年生まれ、岩手県普代村出身。岩手県立久慈東高校、岩手県立大学社会福祉学部を卒業後、岩手県職員に。大学時代、陸上部だった経歴を買われ、昨年は職場の上司に誘われてマラソンに初挑戦。休日は友人とフットサルを楽しむことも。



「少しでも相談者の力になりたい」と親身になって話を聞く畑さん。

祖父母と暮らした経験から高齢者福祉に興味を持ち、岩手県立大学社会福祉学部に進学。福祉の政策や制度など、社会的な支援の枠組みについて学ぶうち、福祉行政に関心を抱くようになりました。直接的な支援も大切ですが、一歩引いた立ち位置から福祉全体をより良くする行政の仕事に関わりたいと思うようになったんです。

現在は、盛岡広域振興局で生活保護を担当。直接、生活に困っている方のもとへ出向き、必要な保護費の見立てや、就労支援など自立に向けたサポートを行っています。難しいのは、自分の考えを対象者が理解できるように伝えること。法律上の規制や制度にしても、支援の方向性を伝えるにしても、人によって理解力に差があります。一人ひとりに合った説明を工夫するのはもちろん、少しでも生活が良い方向に変わっていくように心して取り組んでいます。

県職員は、様々な職場で多くの経験ができることが魅力。私もいろいろな現場で自分を磨き、支援の質を高めていけるよう努力していきたいと思っています。

宮古キャンパスでの学びと経験が  
私の未来を拓いてくれました。



在学生

### 安倍 千晶

1998年生まれ、宮城県石巻市出身。岩手県立金ヶ崎高校卒業後、宮古短期大学部に進学。寮生活を送りながら、勉強、サークル活動、アルバイトとアクティブに活動。平成31年春からは県内の大学に編入。好きな食べ物は盛岡冷麺。



県政懇談会で岩手の未来について意見を述べる安倍さん。

小学生のとき、東日本大震災津波を経験。復興や地域創生を「被災したまちで学べる」ところに魅力を感じ、進学を決めました。

第10代委員長を務めた「岩手県立大学宮古短期大学部学生赤十字奉仕団」では、学外での活動も多く、宮古のNPO職員や同世代の漁師さん、全国からやってくるボランティアサークルの学生など、いろんな人たちと交流し、視野がぐんと広がりました。

2年次の夏には、宮古短大の学生と、達増岩手県知事との県政懇談会に参加。宮古岩手の未来について意見を交わし、他の学生の地域への思いも知ることができました。また、授業を通じて「地域と経済のつながり」に関心を持ち、より深く学ぶために大学編入を決意。その夢を実現できたのは、先生方の親身な指導のおかげです。

震災を乗り越え、立ち上がるつもりという宮古のまち。ここだから学び、出会い、経験できたことがたくさんあります。充実の2年間を糧に、これから始まる大学生活も、実りあるものになりたいと思っています。



卒業生

## 高橋 孝典 さん

[平成13年度・ソフトウェア情報学部卒]  
岩手県立大学の一期生として入学し、サークル設立や委員会活動など学生活動の基礎を築く。卒業後は岩手県職員として観光や国体、ILCなどの仕事に携わる傍ら、総合政策研究科などで社会人院生として学ぶ。平成19年より同窓会長を務めている。



卒業生

## 浅井 恵 さん

[平成23年度・社会福祉学部卒]  
大学時代は福祉臨床学科の介護コースで学び、ボランティアサークルKIPU\*Laboのメンバーとしても活躍。大学3年の時に震災が発生、同級生らと支援活動にも携わった。現在は、生活支援コーディネーターとして地域の支え合いづくりをサポートしている。



**Q** これからの県立大学に望むことは？  
**菊池** 私はまだ1年なので大学の未来については具体的にイメージできないのですが、学部間の壁が低くなれば良いなと思っています。自分が学んでいることや関わっているプロジェクトで、他の学

### もっと視野を広げてオープンに、学生の可能性を育てる大学へ

**高橋** 確かに学生ボランティアセンターの活動は画期的でした。こうした組織を立ち上げたのも、全国的に早かったですね。  
**浅井** 学生と先生の関係がよいのも魅力の一つ。大学にはクラス担任がいないので不安でしたが、先生方はみんな親身になって相談に乗ってくれました。  
**熊谷** 大学に入って人間関係も広がりました。私はサークルや委員会でも活動したり、図書ボランティアもやっていたのですが、様々な経験ができただけでなく、活動を通して他学部の友人が多くなりました。

ンティアセンターの仲間が実践していたんですよ。大学がある川前地区の人たちと学生が鍋を囲みながら交流したり、地域を学生がパトロールしたり。今の社会課題に、うちの大学はもう何年も前から先駆けて活動していたんです。



在学生

## 熊谷 祐太 さん

[総合政策学部・4年]  
大学では中央委員会のメンバーとして、七夕祭や夢灯りなどの学内イベントの企画・運営に携わったほか、演劇サークル劇団ちゃねるに所属。他に図書ボランティア・ライブラリーアテンダントとしても活動。卒業後は盛岡市役所職員に。

部の先生の話を知りたいと思う時があります。でも、なかなか気軽に話を聞くことができない。もっとオープンに学部間を行き来できるようにしたら、先生や学生同士のつながりも広がります。  
**熊谷** 今の1年次には「いわて創造入門」という地域を学ぶ必修科目があるのですが、2年次以上にはありません。私は4年間を通じて、地域の現状や課題に対峙できる横断的な科目があれば、もっと地域に目を向ける学生が増えるのではないかと思います。地域を深く知り、地元の人や企業を知ることが、県内で働こうと考えるきっかけになりますから。  
**浅井** 卒業生の立場から言うと、今の大学がどんなことをしているのか、情報を得る機会が少ないです。大学の力を借りたい時も、誰に相談すればいいのかわからない。それがわかれば、私たちが大学をサポートすることも増えると思いますし、大学と協力して様々な仕事をするができるはずだと思います。卒業生と大学をつなぐ仕組みをしっかり作れば、これまでとは違う可能性

# 岩手県立大学の これからを考える

平成30年に、開学から20周年を迎えた岩手県立大学。これまで1万人を超える人材を輩出してきたが、学生側の目線から大学の未来はどのように映っているのだろう。節目の年を新たな起点として、さらに前へと踏み出す県立大学を、在学生と卒業生の4人に語り合ってもらった。

### 全国に先駆けて新たな試みに挑戦、主体的に活動できる環境がここにある

**Q** 県立大学の魅力は？

**菊池** 私は高校時代から社会

福祉士になりたいという夢があり、生まれ育った岩手のことをしっかりと学んだ上で、社会福祉を深めていくから県立大学が一番だと思っています。

**高橋** 私は一期生なのですが、新しい大学ということもあり、学生も教員も志が高く、チャレンジ精神を持った人が多かったように思います。私が学んだソフトウェア情報学部も先駆けの学部でしたが、総合政策という学部も全国的に数少ない学部でした。大学全体が最先端の教育・研究をしていくんだ！という気概に満ちていましたね。

在学生



## 菊池 眞悠子 さん

[社会福祉学部・1年]  
高校時代から高齢者の方と高校生をつなぐ場づくりの活動に携わり、入学後はボランティアサークルKIPU\*Laboで代表を務めているほか、風土熱人Rにも参加。防災に関わるプロジェクトにも挑戦したいと考えている。

**熊谷** 私は総合政策学部で4年間学びました。うちの学部には、法律や経済といった社会・人文科学の分野と、環境や地域を学ぶ自然科学の分野があります。他の大学ならどちらかに特化した学部が多いのですが、県立大学の場合は幅広く学んでから、自分の興味のある学問を選択し、深く掘り下げていくところがいいと思います。

**浅井** 現在、私は生活支援コーディネーターとして、地域の支え合いをつくるお手伝いをしていますが、今やろうとしていることって、実は大学時代に学生ボラ

が広がるのではないのでしょうか。

**高橋** 私がこれからの大学に望むのは、人材育成の一点に尽きます。地元は未来を担う人材を育てるのはもちろんですが、地元にとられ過ぎては視野が狭くなる。地域の枠を超えて、世界で活躍できるような人材を育てることが大事だと思います。今、私の周りでも県外に就職して、それぞれのフィールドで活躍した人たちが岩手に戻り、起業しているケースが少なくありません。外で培った多くの経験や人脈を、岩手のために生かしてくるわけですからこれほど頼もしいことはない。グローバルな視点で物事を考え、世界に羽ばたく人材を育てていくことが大事だと思います。





# 楽しい大学生活も友達づくりも新歓で!

## 新入生歓迎会

[日時] 4月6日(土) [場所] 体育館  
[時間] 13:00~15:00

### 入学後、 利用したサポートは?

Q1

A1 / 履修の相談や各種書類の提出などで「学生センター」を利用します。また、盛岡短期大学部は就活が早いので、1年次から「キャリアセンター」に相談に行きます。

### 空き時間に よく行く場所は?

Q2

A2 / 友達とおしゃべりしたり、勉強する時は、大学生協購買店前のラウンジや図書館、コンピュータ演習室をよく利用します。一人でゆっくりしたい時は、「学生サポートサロン」も利用します。

### 友達づくりのコツは?

Q3

A3 / 高校と違って大学には「クラス」がないので、新入生歓迎会や健康診断など、大勢が集まる機会に声をかけて友達になることが多いです。知らない人ばかりで、不安なのはみんな同じ。まずは、勇気を出して声をかけてみて!

### あると便利なグッズは?

Q4

A4 / 学生証や生協のカードを収納できる定期入れ、プリントを仕分けできるファイル、パソコンを使った授業の時に便利なUSB、勉強に使える電子辞書。ほかに春先(特に滝沢キャンパス)は寒いので防寒着があるといいですよ。

## 滝沢キャンパス相談窓口

### [学生センター]

[場所] 本部棟1階 [時間] 8:30~18:15  
(長期休業中8:30~17:00)  
学籍異動(休学、退学等)の手続き、住所変更、証明書の発行(学生証、在学証明書、通学証明書など)、奨学金、授業料免除の手続き、課外活動相談などに関する事

### [キャリアセンター]

[場所] 本部棟1階 [時間] 10:00~18:15(3月~5月/8:30~18:15、夏季休業中10:00~17:00)  
就職相談・模擬面接(予約制)、企業情報・就職情報の提供など

### [学生サポートサロン]

[場所] メディアセンターB棟2階  
[時間] 9:00~17:00  
学生相談や障がいや病気を抱える学生への支援に関する事

### [メディアセンター(図書館)]

[場所] メディアセンターA棟 [時間] 9:00~21:00(長期休業中9:00~17:00)  
図書に関する事

### [健康サポートセンター]

[場所] 本部棟2階 [時間] 8:30~17:00  
健康診断、健康相談、健康診断証明書などに関する事

## 宮古キャンパス相談窓口

### [宮古事務局]

[場所] 管理研究棟1階  
[時間] 9:00~18:00  
学籍異動(休学、退学等)の手続き、住所変更、証明書の発行(学生証、在学証明書、通学証明書など)、奨学金、授業料免除の手続き、課外活動相談などに関する事

### [就職・編入相談室]

[場所] 管理研究棟2階  
[時間] 8:30~20:30  
就職相談・面接指導・企業情報・就職情報の提供などに関する事

### [図書館]

[場所] 講義棟2階  
[時間] 9:00~18:00  
図書に関する事

### [保健室]

[場所] 管理研究棟1階  
[時間] 8:30~17:00  
健康診断、健康相談などに関する事



### 中央委員会

部員数は27名。活動日は毎週月曜日、18:00~19:00まで部室で行っている。学生生活を充実したものにするための様々な学生会活動や、学内イベントの企画・運営などを行っている。



中央委員会が企画・運営を行う七夕祭(左)と新入生歓迎会(右)の様子。

学生活動を盛り上げること!!  
それが私たちの役割です!!

「中央委員会」と聞いて、どんな活動が思い浮かぶだろうか。この委員会は中学・高校でいうなら生徒会、つまり大学の学生生活(学生会)の中枢を担う委員会なのである。その活動は大きく3つ。一つは、新入生歓迎会・七夕祭・夢灯りの学内イベントの企画・運営。一つは、サークルや委員会の活動費の予算作成。そして、もう一つが、学生の代表が集まる「代表委員会の運営」だ。

「予算作成では評価力や会計力イベントでは企画力や実行力など、社会で役立つ力がかかります。将来を見据えて入る学生が多いですね」と話すのは、代表の平沢光真さん(ソフトウェア情報学部・2年)。幅広い活動の中でも、大変なのはイベントの企画・運営。天候に左右されることもあるため、リスクを踏まえた準備が必要になるという。

「準備をどれだけしたかで、結果が大きく変わるんです。要は、自分の努力次第。頑張った分だけ達成感も大きいです」。仲間と物事を成し遂げる中で、人とのつながりを学び、成長しているという中央委員会。「何かやってみたい」と思っている人に、新しい一歩を踏み出す入口になるかもしれない。



# 居住文化

盛岡短期大学部生活科学科 講師

## 赤澤 真理

京都府生まれ、東京都育ち。日本工業大学工学部卒業後、同大学院工学研究科(博士後期課程)修了。国文学研究資料館研究員、同志社女子大学助教を経て平成28年に岩手県立大学盛岡短期大学部に赴任し、現在に至る。「休みの日は家でんびりする」のがリフレッシュ法。オススメの盛岡グルメは「温麺」とのこと。



## 多様な視点で浮かび上がる 日本古来の世界観

「建物は単なる空間ではなく、生活の場。建築の間取りや様式を明らかにするだけでなく、住む人の温度や匂いを感じることも、私の研究テーマでもあります」。

そう話すのは、建築の歴史を専門とする赤澤真理先生。現在、文学や服飾文化、書道学、工学といった異分野の研究者とチームを組み「古代中世における宮廷文化史の再構築」をテーマに研究に取り組んでいる。

『源氏物語』に代表される物語や和歌、絵画、工芸など、古代中世の資料や遺物は多数現存していますが、各分野で個別に考証されることがほとんど。それを複合的にアプローチすることで当時の暮らしや文化を立体的に浮かび上がらせたい」と赤澤先生。例えば建築史では、空間をからんどうな状態で論じることが多いが、そこにどんな調度品が置かれ、どんな衣装を着て、何人で生活していたかによって、「どのくらい広いか」のスケール感が変わる。「同じように、個別研究では得られない視点や気づきを各分野の研究にも還元できる」と話す。

平成30年には、平安時代の歌合のようすを立体CGで再現。「資料から読み取れる解釈は何通りもあり」実際は「こう」と断定できるものではありませんが、可視化することで音や匂い、色彩といった当時の空間が浮かび上がり、より考察を深めることができる」と話す赤澤先生は「この研究の成果をいかし、いずれは平泉文化の研究にも貢献したい」と考えている。「当時の平泉における住まいの空間を、同じ時代の京都や鎌倉と比較しながら、浮かびあがらせて、中世日本文化のひろがりを考えていけたら、と思っています」。



制作/TOKUFPCM  
平安時代における歌合の装束・建築を復原したもの(寛子春秋歌合)



協力/仙台市市民文化事業団  
平安時代における打出の再現、御簾の下から装束を出す空間演出のこと

## どこにいても必要なケアが 受けられる仕組みを目指して

超高齢化時代の到来を見据え、これからの医療・介護のあり方として国が推進する「地域包括ケアシステム」。だれもが住み慣れた地域で、自立した生活を最期まで送ることができるよう、それぞれの地域の医療や介護、生活支援などの多分野が連携し一体的に支える仕組みだ。

山間地が多い岩手県は医療機関へのアクセスも決して充分とは言えない。そのため公的な医療機関が数多く設置されている。地域医療の最前線でもあるこうした施設での看護の現状と課題を把握することで、地域包括ケアを支える「看護の質の向上」につなげたい。そんな思いで実態調査に取り組んだのが、上林美保子先生、岩淵光子先生、蘇武彩加先生だ。

「私たちが所属する地域看護学講座は、主に地域をフィールドに活動する看護職(訪問看護師や保健師など)の育成に携わっています。この調査により、地域の医療施設の強みを明確にし、その魅力を地域に根差した看護を目指す学生に伝えたい、という思いもありました」。

県内に29カ所ある国民健康保険診療施設を対象にアンケート調査を実施。その結果、人手不足などの課題はあるものの、患者さんに丁寧に関われる、他職種と連携しやすい、といった小規模ならではの強みと地域の特性を活かした地域包括ケアが行われていることもわかった。「これまでほとんど調査されていなかった国民健康保険診療施設の実態を具体的に把握できたのは大きい。調査結果を県内の関係機関で共有し、今後の取り組みに生かしたい」と岩淵先生。調査を通じて施設との距離が縮まり、看護教育における協力体制がもてたことも成果の一つ。「看護活動の広がり貢献できるきっかけになれば」と、期待する。

# 地域看護



看護学部 講師

## 岩淵 光子

岩手県一戸町出身。北里大学看護学部卒業後、岩手県立大学大学院看護学研究科(博士前期課程)修了。保健所保健師などを経て平成11年に岩手県立大学看護学部へ赴任し、地域看護学などを担当。最近ハマっているのは断捨離。

看護学部 教授

## 上林 美保子

岩手県盛岡市出身。宮城大学大学院看護学研究科(博士前期課程)修了。市町村保健師を経て岩手県立大学看護学部開学と同時に赴任。地域看護学の科目を受け持つほか、看護学部学生就職委員長も担当。

看護学部 助教

## 蘇武 彩加

岩手県二戸市出身。岩手県立大学看護学部卒業。岩手県立大学大学院看護学研究科(博士前期課程)修了。市町村保健師を経て平成21年に母校・岩手県立大学に赴任。趣味はバイクツーリング。



研究成果をまとめた報告書



## 岩手県立大学未来創造基金

皆さまからの多くのご厚意とご協力を  
ありがとうございます。

大学の教育研究活動をさらに充実させていくための財源として平成28年度に創設した「岩手県立大学未来創造基金」に平成31年1月31日現在で169件、約2,362万円もの寄附が寄せられています。

岩手の未来づくりに貢献する教育研究活動をさらに広げていけるよう、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

[基金のお問い合わせ先]  
岩手県立大学総務室(管財契約グループ) TEL.019-694-2032 FAX.019-694-2001  
[お申込み方法]  
本学ホームページ、書面、電話、FAX又は本学所定の振込取扱票でお申し込み・お振り込みください。



# KENDAI NEWS

岩手県立大学のニュースや  
イベントなど、  
旬のピックアップをご紹介します。



## 学内合同企業等説明会 を開催

就職活動解禁日に合わせて、四大3年生、短大1年生などに向けて合同企業等説明会を学内で開催しました。  
2日間合わせて県内外から131の事業所(県内84、県外47)と学生約300人が参加しました。  
当日は、就職活動における心構えや礼儀についてレクチャーを受けた後、事業所の各ブースに行き、会社概要や仕事内容の説明を聞きました。学生たちは真剣な眼差しで説明を聞き、一所懸命にメモを取っていました。

## 平成30年度学長奨励賞 授与式を実施

学長奨励賞授与式を行いました。学業や研究活動、課外活動などにおいて業績を上げた団体や個人に贈られるものです。



### 看護学部

ピアいぶ  
平成15年から県内各地の中学校・高校にて思春期保健授業や、ピア・カウンセリングの活動を実施。

### 看護学研究所

野里 同  
第20回日本褥瘡学会学術集会で最優秀演題賞、学会誌で若手論文奨励賞を受賞。

### 社会福祉学部

前内 杏香  
岩手県障害者施策推進協議会に公募委員として参加。

### 佐々木 誠治

経営情報学会PACIS2018主催記念特別全国研究発表大会でポスターセッション優秀賞、平成29年度データ解析コンペティションDB部会最終報告会で優秀賞を受賞。

### ソフトウェア情報学部

細越 一希  
新潟県が実施した除雪のアイデアコンテストで優秀賞、岩手県学生IoTアイデアコンテスト2018で所属するチームが準優勝を受賞したほか、総務省が主催する5G利活用アイデアコンテストで所属するチームの提案が11の優秀なアイデアに選定(東北管区で第1位)。

### ソフトウェア情報学研究所

中田 恵史  
岩手県学生IoTアイデアコンテスト2018で最優秀賞、第80回情報処理学会全国大会で学生奨励賞を受賞。

### 今測 貴志

国際会議eTELEMED2018でBest Awarded Papersを受賞。

### 総合政策学部

柿木 歩実  
雫石町の旧町村単位で組織される住民団体の地域づくり会議に参加し、マップチームのメンバーとして活動。このほか、様々な活動を行い、第2回環境教育学会東北支部大会研究・活動発表の部で活動を報告し、参加者から高い評価を得た。

### 国際協力サークルsmile

カンボジアの愛センターで衛生教育、栄養教育等を実施。日本財団「Gakuvo style fund」プログラムに採択。

### スケート部

太田原 春菜  
第38回国公立大学フリースケーティング競技会の女子選手権クラスで3位入賞。

### 広島県三原市災害ボランティアセンター 運営支援プロジェクト参加学生

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)において、現地災害ボランティアセンターの運営補助や清掃活動、被災宅を個別に訪問してのニーズ聞き取り等を実施し、被災地を支援。

### 盛岡短期大学部生活科学科

角掛 直緒  
第56回全国ファッションデザインコンテスト第1部作品制作の部で入選。

## 人事情報

[新任役員等](平成31年4月1日付け)  
高等教育推進センター長 石堂 淳

[教員の異動等]  
退職(平成31年3月31日付け)  
看護学部 講師 岩淵 光子  
看護学部 講師 田口 美喜子  
ソフトウェア情報学部 教授 渡邊 慶和  
ソフトウェア情報学部 講師 塚田 義典  
盛岡短期大学部 講師 堀内 容子  
宮古短期大学部 教授 神谷 厚徳

採用(平成31年4月1日付け)  
看護学部 講師 高屋敷麻理子  
看護学部 助手 尾無 徹  
社会福祉学部 准教授 實方 由佳  
社会福祉学部 講師 瀧井 美緒  
ソフトウェア情報学部 准教授 大堀 勝正  
総合政策学部 准教授 市島 宗典  
総合政策学部 講師 役重 真喜子  
総合政策学部 講師 上原 史子  
総合政策学部 講師 三好 純矢  
高等教育推進センター 助教 江村 健介  
盛岡短期大学部 講師 浅沼 美由希  
宮古短期大学部 講師 鈴木 将人  
宮古短期大学部 講師 大前 義幸



## 西澤初代学長ご逝去に際して

初代学長の西澤潤一先生が、10月21日にご逝去されました。

西澤先生は、建学の理念の下、開学間もない本学の教育・研究を牽引されました。また、自分で考える学生を育てたいと、学生たちには「とことん自分と向き合い、本当の自分を知ること、自分の力が備わっていないことを知り、それにより謙虚に学ぶことができよう」と『素心知困(そしんちこん)』という言葉を送り、今でもその精神が在学生・卒業生ともに根付いています。

ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

今年はやがて元号が変わる年。また、岩手県立大学も20周年を迎え、これからまた新しい歴史を築き始める年。今号は、希望に満ちた「新しい」「始まり」をキーワードに『岩手県立大学のこれから』と題して、特集やCAMPUS TOPICS!、Let's Enjoy CAMPUS Lifeの紙面を作りました。対談形式の内容も多く、とても読みやすい内容になっていますので、ぜひ、ご覧ください!!取材では、今回も多くの方のご協力をいただきました。心から感謝いたします。これからも岩手県立大学の旬な情報をお届けしますので、引き続き、よろしくお願いいたします。  
(企画室 築田)

広報誌WEB版も公開中!



## 岩手県立大学のホットな情報発信中!

岩手県立大学では、お知らせやイベント情報などをリアルタイムに発信するためTwitter公式アカウント【@lwate-puPR】、Facebook、YouTubeで情報提供を行なっています。ぜひ、ご覧ください。



広報誌へのご意見・ご感想や、広報に関する皆様のご意見を企画室までお寄せください。  
TEL.019-694-2005 FAX.019-694-2001  
E-mail:management@ml.iwate-pu.ac.jp